

長崎サミットにおける 4つの横断的な活動分野

★「行きたくなる、住みたくなるまちづくり」

「地域の産業を担う人材育成・確保」

「長崎を知っていただくブランディング」

★「長崎をさらに発展させる産業振興」

長崎が直面し、前向きに対応していくべき課題

(1) 長崎を取り巻く社会・経済環境の変化

- コロナ感染症の経験を経た、人々の価値観や生活様式、企業経営等の変化
- デジタル技術やDXの社会実装の加速
- 世界に進む脱炭素化の不可逆的な潮流、SDGsを重視する価値観の浸透
- 国民生活の基礎となるエネルギーや食糧、医療等の安定的な供給の重要性の再認識

(2) 長崎自体の変化やその兆し

- 新幹線開業、「100年に一度」の「まち」の佇まいの大きな変化
- 巨大プロジェクトの具現化（スタジアムシティ、統合型リゾート等）
- 人口減少の加速、産業構造の変化、次世代産業創出への期待の高まり